

産地生産基盤パワーアップ事業の取組事例(29年度:南会津町農業再生協議会) (福島県)

取組の概要

計画作成主体 : 南会津町農業再生協議会
 対象品目 : そば(産地面積81ha)
 主な取組主体 : 会津高原たていわ農産(有)
 成果目標 : 生産コストの12.7%以上削減
 基準(H28年度) 46,281円/10a
 目標(H31年度) 40,394円/10a
 導入施設等 : 生産支援事業(機械リース)
 (コンバイン、ライムソワー 各1台)

福島県
 南会津町
 館岩地区



ポイント

【産地の状況】

当産地は中山間地域に位置し、高齢化や担い手不足等による自己保全管理ほ場や耕作放棄ほ場の増加といった課題を抱えている。

そこで、担い手に対し農地利用集積を行い、大規模経営に適した高性能機械を支援することで作業の集約化・効率化を図り、生産コストの削減と収益力強化を目指すとともに、県オリジナル品種「会津のかおり」等を活用した特色あるそば産地づくりを支援する。

【産地の体質強化に向けた方策】

- ①自己保全管理地等を担い手へ農地利用集積し大規模化
- ②大規模経営に適した高性能機械のリース方式による導入支援
- ③県オリジナル品種「会津のかおり」の栽培による特色ある産地づくり

推進体制

・南会津農林事務所
 ・南会津町
 ・JA会津よつば

南会津町農業再生協議会
 ①計画の策定・管理
 ②取組計画への助言

指導・助言

情報共有

・協議会と取組主体(法人・農業者)との情報共有(取組状況等)
 ・行政機関(県、町)及びJAによるサポート体制

取組主体(法人・農業者)
 ①取組計画の作成
 ②取組実施等

地域における独自の取組

〈主な取組〉

- ・県オリジナル品種「会津のかおり」の栽培による産地化
- ・取組主体が指定管理者として運営する道の駅「番屋」での加工販売(直売)

取組成果

【事業実施による直接効果】

- ①そば作付による耕作放棄地等の解消
- ②リース支援による初期投資の節減効果
- ③高性能機械の効率的利用による作業効率の改善

【事業実施による間接効果】

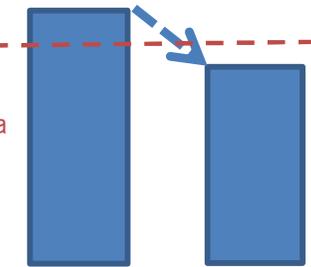
- ①適期作業による生産量増加及び品質向上
- ②そば産地としての販売力強化



**生産コストを
 26%削減
 (達成率207%)**

46,281円/10a 34,080円/10a

目標値
 40,394円/10a



H28 (基準年) R2 (達成年)

実績値(生産コスト)